

さるたま経済探訪

156

県民経済計算は各都道府県経済情勢の把握には各種の月次統計などの有用な統計です。各都道府県が公表されれば、2年前の経済で一年間にどれほど「生産」され、「支出し」されたのかを知ることができます。

たゞ、今年3月に公表された最新の埼玉県民経済計算は20兆7,333.6億円で、前年度比プラス4・3%の増加でした。物価変動の影響を除いた県内総生産も同プラス4・0%のプラス成長になりました。ただし、前年度の20年度は、新型コロナウイルスの影響によ

日本銀行調査統計局
調査主幹・埼玉県経済総括

清水 雅之



しみず・まさゆき 1965年生
まれ。東京大学経済学部卒。88年日本銀行入行。政策委員会企画役(審議委員スタッフ)、調査統計局企画役、内閣府政策企画調査官(統計委員会担当室、国民経済計算部)などを経て、2016年4月より現職。

県民経済計算からみた県内

も大きかったのは「製造業」で、次いで「ロナ対応に当たった医療設備」から見ると、個人消費が前年度からの反動増もあつてプラスとなりました。今年度の名目県内総生産は23兆8,299.6億円で、前年度比プラス4・3%の増加でした。物価変動の影響を除いた県内総生産も同プラス4・0%のプラス成長になりました。

■経済規模全国5位を堅持

県民経済計算は各都道府県で作成・公表されますので、ほかの都道府県と比較することができます。今後とも、月次統計などを用いた足もとの県内経済情勢の把握だけでなく、県民経済計算を用いた県内経済の構造面からの考察が出来ます。そのため、足もとの経済

でマイナス成長(名目・同マイナス2・9%、実質・同マイナス3・6%)でしたので、21年度の高めのプラス成長には、前年度から一方、「建設業」や「不動産業」は前々年度と前年度の大増の反動増による押し上げ効果も含めていると考えられます。「生産」面から県内総生産の成長率への業種別寄与度を見ると、最続マイナスとなりました。「支用者報酬」は前年度からの反動増がマイナスとなりましたが、コロナの影響で前年度と大幅減となった間、「分配面」からみると、「雇用者報酬」は前年度からの反動増がマイナスとなりました。民間企業の収益が、経済成長にプラスして伸びています。この間の県内人口は、近辺でしたが、84年度に7位となり、2003年度以降は5位で推移しています。この間の県内人口の着実な増加が、経済成長にプラスに働いているように思われます。

紙幅の関係から、県民経済計算にある主要計数しか取り上げられませんが、ほかにもさまざまな統計情報があります。埼玉県経済のより詳細な構造的特徴などを知るために、場合によっては、非常に有用な統計です。今後とも、月次統計などを用いた足もとの県内経済情勢の把握だけでなく、県民経済計算を用いた県内経済の構造面からの考察が出来ます。そのため、足もとの経済